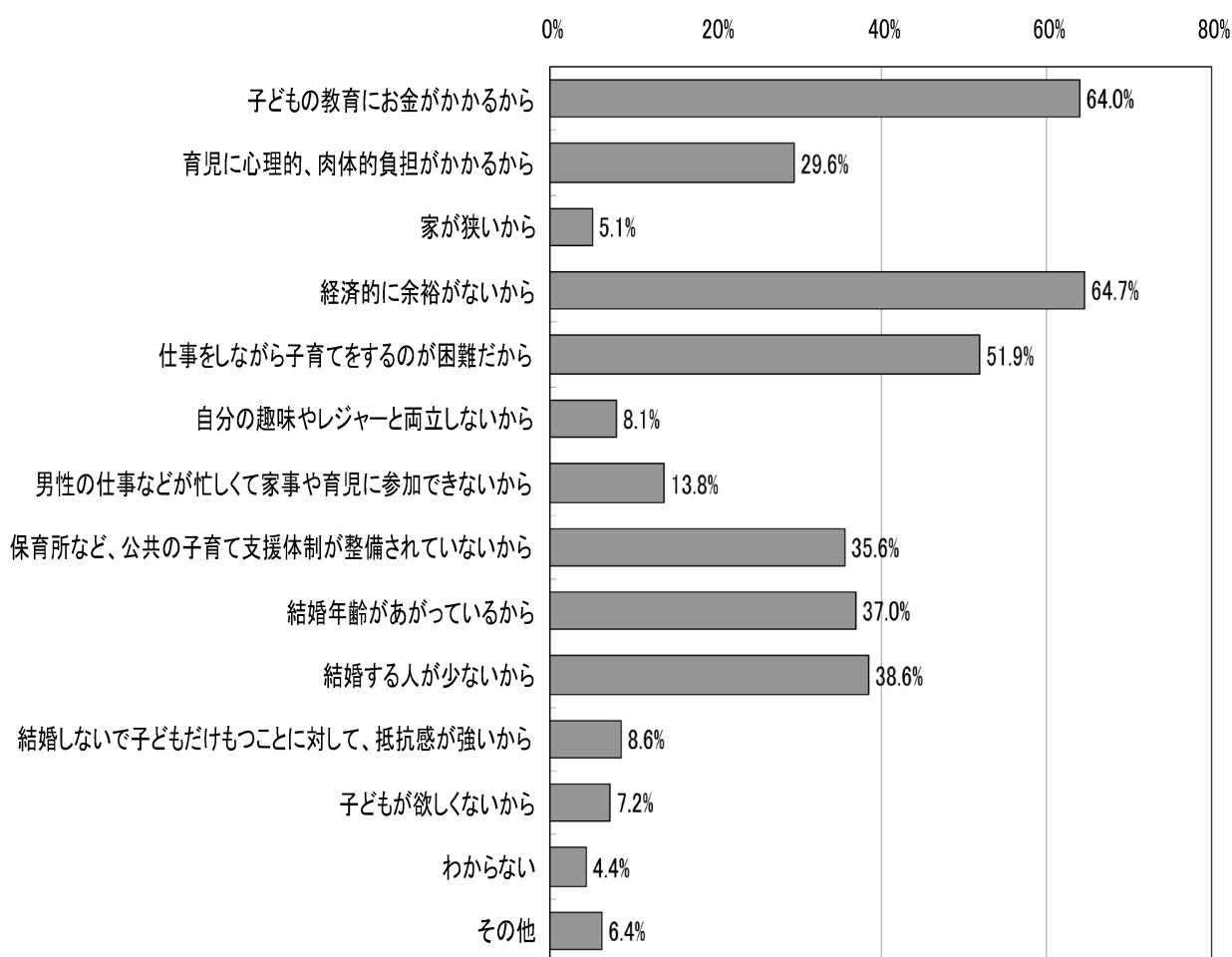


### 3. 子育てや介護について

問6 全国的に少子化が進んでいますが、沼田市においても年々出生率が低下し、平成9年の出生数は568人でしたが、19年には445人に減っています。その理由は、どのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

「経済的に余裕がないから」と回答した人が64.7%、「子どもの教育にお金がかかるから」と回答した人が64.0%となっており、金銭的な理由が上位を占めています。「仕事をしながら子育てをするのが困難だから」が次いで51.9%となっています。



#### ■ 「その他」の回答

##### ○金銭的なことについて

- ・実際にお金を必要としている所に使っていない為、余計に子供を産みたくても産めない環境がある。
- ・保育料が高いので働いていても意味がない。
- ・贅沢な生活を望むあまり経済的に困難。
- ・給料が多ければ子供もたくさん育てられるのでは。
- ・収入が少ない。税金が高額。

- ・子どもがもう 1 人欲しいと思っても保育園が仕事をしている人では、市の保育園には通わせられない（時間が短すぎる）市立は高すぎる。

- ・欲しくても不妊治療にお金がかかる。

#### ○雇用環境について

- ・育児休暇など取得できない。妊娠したら会社をやめなきゃいけないなど。

- ・収入安定できる職場(企業がない。賃金が低い)。

- ・仕事が厳しい(賃金、時間)。

- ・働く場が少ないため、若手層の流出が多い。

- ・沼田に働くところ無し。

- ・雇用が少なく市の人口が減っている。

- ・沼田市には若い人が働く場がありませんが、みんな都会へ出てそこで所帯をもつので、沼田出身でありながら、故郷には帰ってきません。もっと根本的なことを見つめる必要あり。

- ・沼田市に魅力的な産業、働き場がないから

- ・仕事場がないから子供はすぐ外に出てしまう。

- ・仕事の場がない。

- ・父親の仕事が忙しすぎて家にいない。

#### ○身体的なことについて

- ・不妊。

- ・子供が出来ない人が増えている。

- ・子供が欲しくても出来ない人が多いと思う。

- ・子供が欲しくても妊娠できない人が多い。(不妊に悩む友人がたくさんいます)

- ・ほしくても恵まれない事で治療費も高額である。

#### ○結婚について

- ・結婚をしない若い人が多いから。

- ・(若い)人と会うのが少ない。

- ・男女の出会いの場所をたくさん作って欲しいです。

- ・若い人の人口が減っているから。

- ・お世話役がいなくなったため、未婚率が高い？

- ・結婚したくても出来ない人が多いから。

- ・一緒になりたい相手がないから。

- ・結婚しなくても生活が出来る。

- ・出会いがなくて結婚ができない。

#### ○子育て環境について

- ・核家族が増え夫婦 2 人で子育てするには限界がありもっと地域全体で子育てに協力できる工夫がほしい。

- ・子供を大切に育てたいから。
- ・少ない子供を、大事に育てたいのでは。

○生活不安について

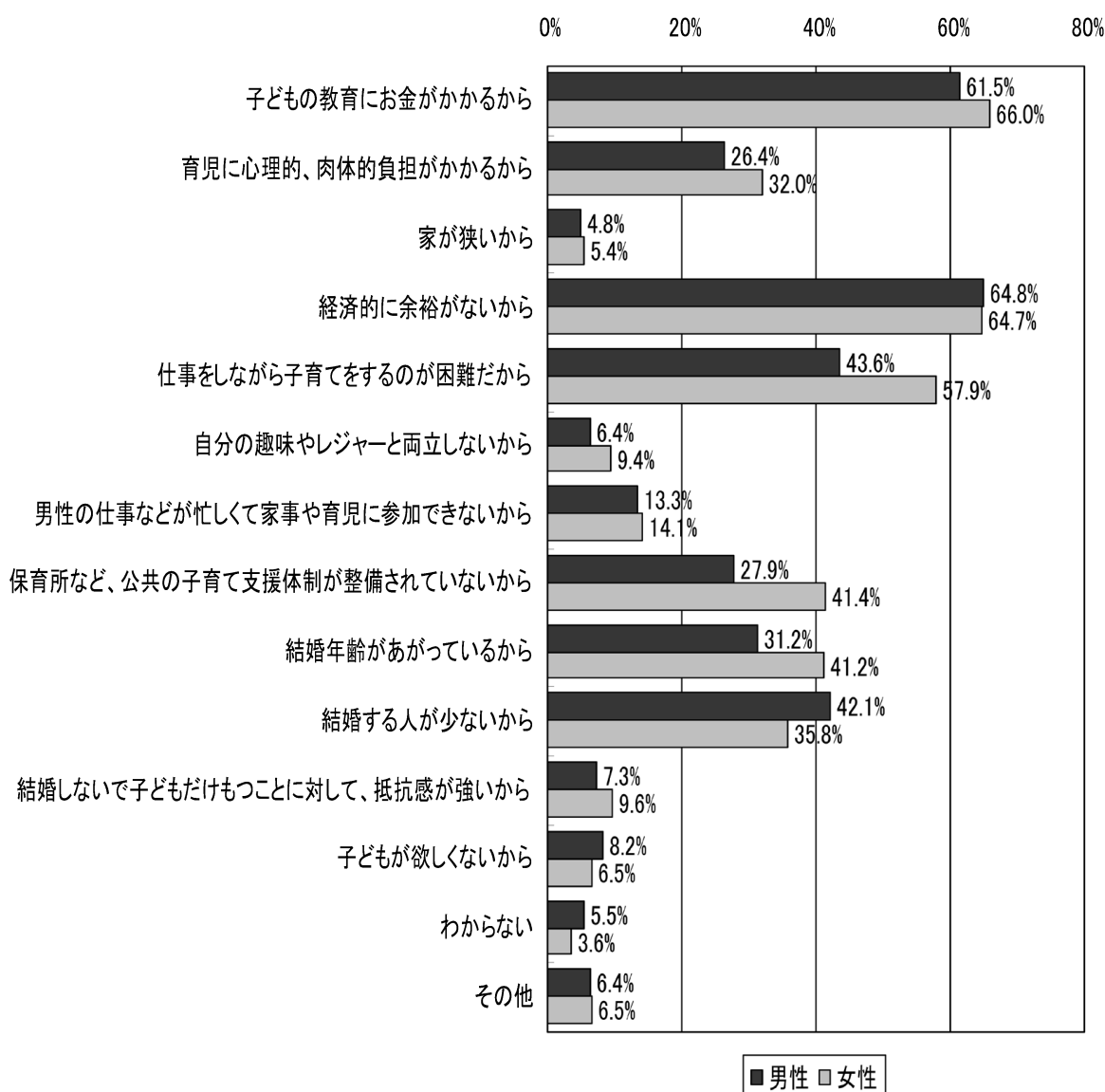
- ・市町村にかぎらず、国がふらふらしている時に、不安が強く子供を持つ事が難しい。
- ・先行きが不透明な為、(リストラなどにより経済的に今後が不安)。
- ・世の中が安定していないから。
- ・友人等の話を聞いても大変そう。仕事に戻れないとか、保育所待ち等。
- ・女性が社会進出し、途中で出産、育児が入ることでその仕事も増えたり、休暇中の不安、女性の負担大。

○その他

- ・行政の扇動。
- ・わがままだから。
- ・世の中の雰囲気。
- ・生き方が自由になっているから。
- ・少子化方向にした昔の人々が悪い。
- ・楽観的な人が少なくなった。
- ・男女共同参画等で女性が働くことに重きを置くようになったから。
- ・親元で暮らしているほうが自分も楽だから。
- ・若者が住んでいないから。

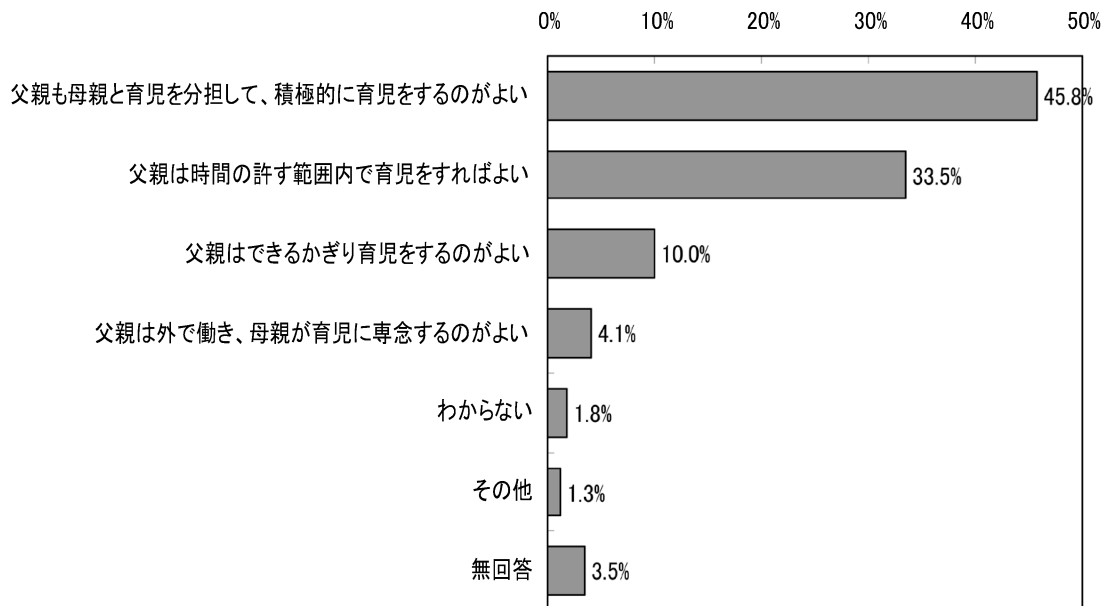
問6：出生率の低下の理由（男女別）

男性は「経済的に余裕がないから」と回答した人が最も多いのに対し、女性では「子どもの教育にお金がかかるから」と回答した人が最も多くなっています。男女で差がでている項目としては、「結婚する人が少ないから」という項目は、女性よりも男性が多く回答しており、「仕事をしながら子育てをするのが困難だから」、「保育所など、公共の子育て支援体制が整備されていないから」、「結婚年齢があがっているから」の項目については、男性よりも女性が多く回答しています。



**問7 父親の育児参加について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つだけに○)**

「父親も母親と育児を分担して、積極的に育児をするのがよい」と回答した人が45.8%と最も多く、次いで「父親は時間の許す範囲内で育児をすればよい」の33.5%となっています。また、「父親は外で働き、母親が育児に専念するのがよい」と回答した人は4.1%となっています。



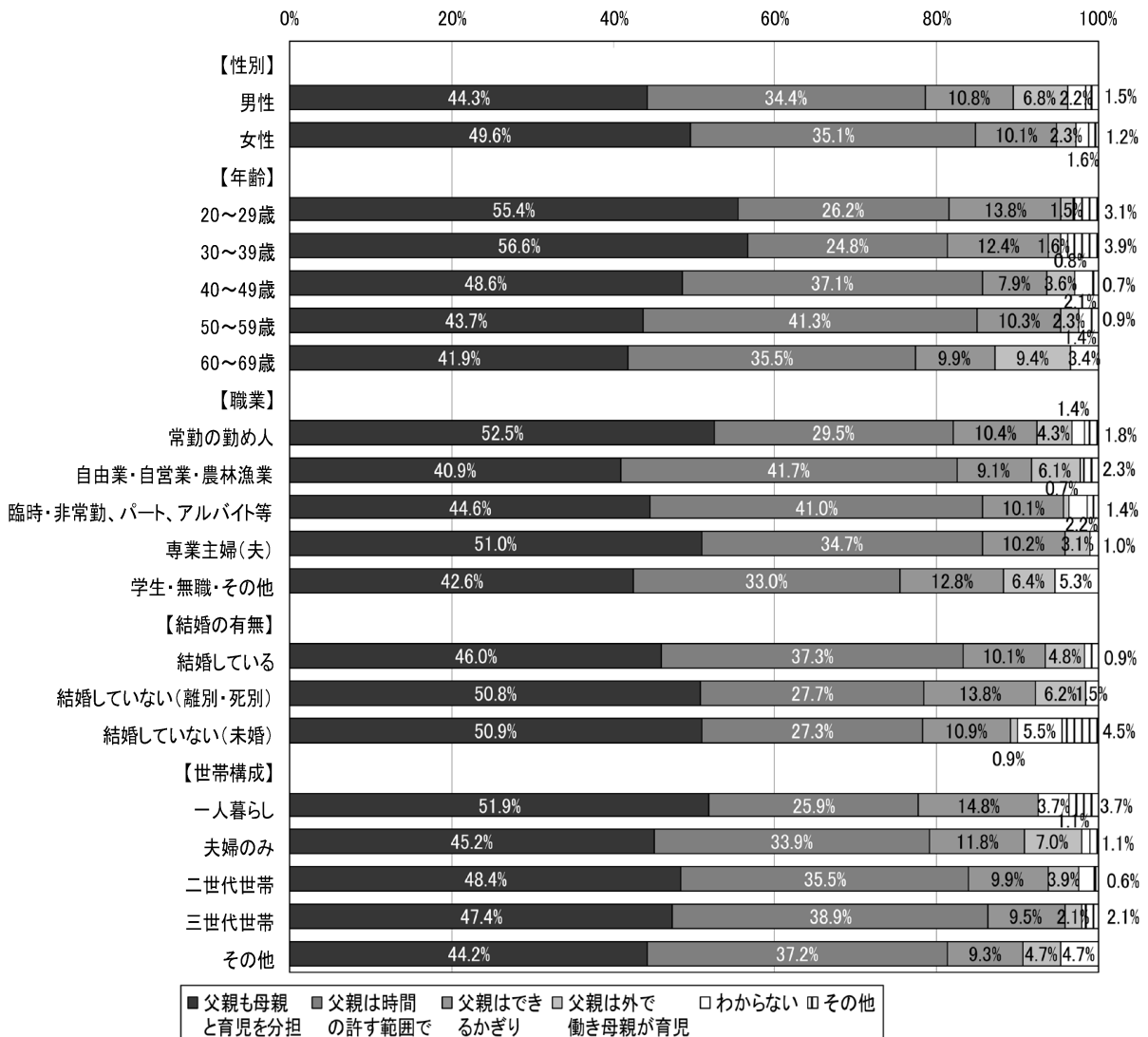
■「その他」の回答

- ・分担してしまうのはよくないと思うので、父親として出来る限り育児をしなければいけないと思います。
- ・どの位育児を分担するかは、その家庭によって様々だと思うが、子供の事にきちんと関心をもつべきである。
- ・家庭事情により異なる。
- ・仕事にいっぱいになっている。
- ・したい人はすれば良い。
- ・父親でも母親でも主育児者になれる。育児参加と言う考えが旧時代的。
- ・父性のなさに疲れてしまいそう。
- ・家族で話す時間を大切にしたい。

問7：父親の育児参加について（属性別）

【性別】では、男性よりも女性の方が「父親も母親と育児を分担して、積極的に育児をするのがよい」と回答した人の割合が多くなっています。【年齢】では、20歳代、30歳代は「父親も母親と育児を分担して、積極的に育児をするのがよい」と回答した人の割合が多く、50歳代、60歳代は「父親は時間の許す範囲で育児をすればよい」と回答した人の割合が多くなっています。【職業】では、常勤の勤め人、専業主婦（夫）は「父親も母親と育児を分担して、積極的に育児をするのがよい」と回答した人の割合が多くなっています。【結婚の有無】では、既婚者は「父親は時間の許す範囲で育児をすればよい」と回答した人の割合が多くなっています。【世帯構成】では、世代が多くなるに従い「父親も母親と育児を分担して、積極的に育児をするのがよい」と回答した人が少なくなり、「父親は時間の許す範囲で育児をすればよい」と回答した人が多くなっています。

父親の育児参加について

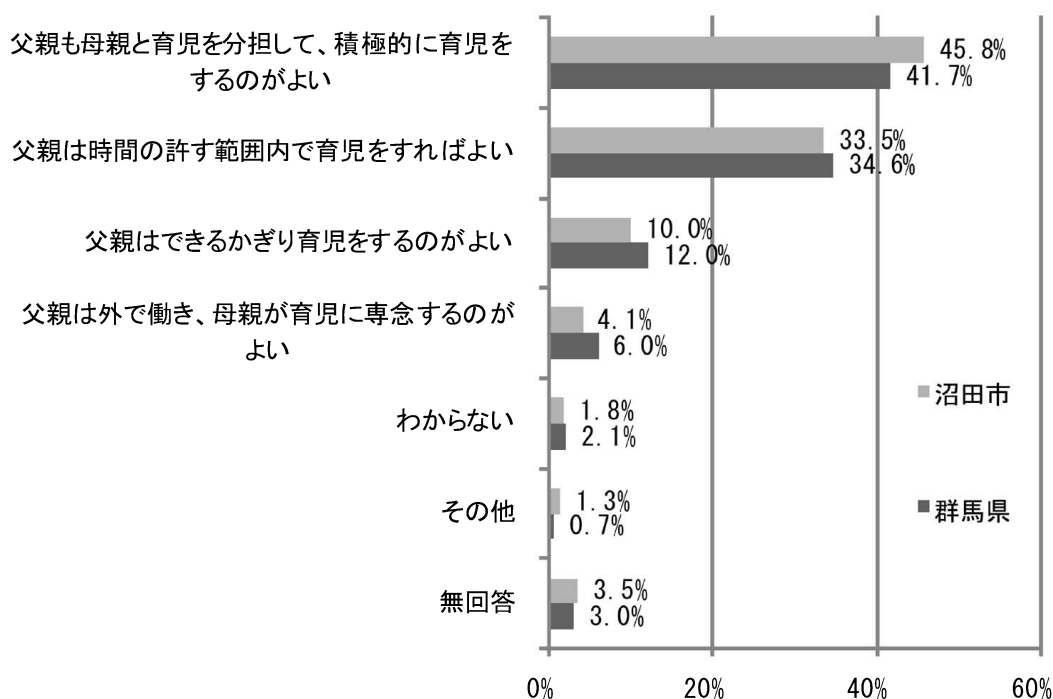


【群馬県調査との比較】

群馬県調査と比較すると、全体的に同じような回答の傾向となっていますが、沼田市の方が「分担して積極的に育児をする」という人が多くなっています。

(%)

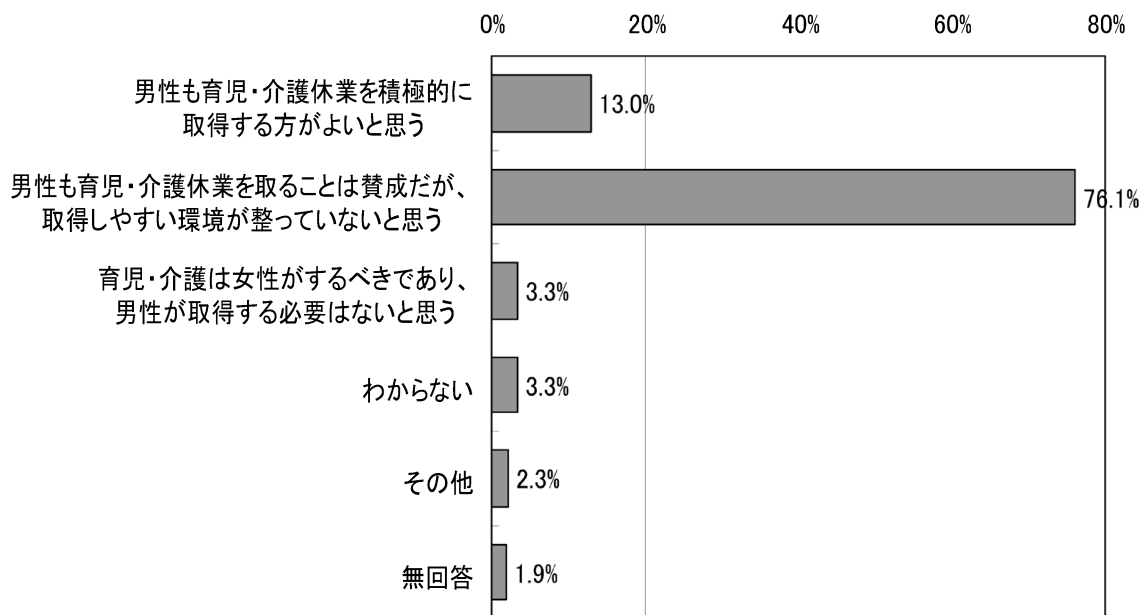
	沼田市	群馬県
父親も母親と育児を分担して、積極的に育児をするのがよい	45.8	41.7
父親は時間の許す範囲内で育児をすればよい	33.5	34.6
父親はできるかぎり育児をするのがよい	10	12
父親は外で働き、母親が育児に専念するのがよい	4.1	6
わからない	1.8	2.1
その他	1.3	0.7
無回答	3.5	3



※ 群馬県調査：「男女共同参画社会に関する県民意識調査（平成 22 年 3 月）」

**問8** 育児や介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度が「育児・介護休業法」により定められています。あなたは、男性の育児・介護休業の取得について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。（1つだけに○）

「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが、取得しやすい環境が整っていないと思う」と回答した人が76.1%と最も多く、次いで「男性も育児・介護休業を積極的に取得する方がよいと思う」が13.0%となっています。



■ 「その他」の回答

- ・男性だと細かい所に気がいかない。
- ・その都度ケースバイケースがあると思う。
- ・そのような世の中を作っていないと。
- ・分担するくらいはよいが、大企業のサラリーマンだけが取得できる制度で、自営業者は休業できない。
- ・自営業は休みは収入がなし。
- ・家庭事情により異なる。
- ・頭の悪い昔の体質を変えない社会の責任。
- ・育児は女性。介護は両方の親が存在するので、両方。
- ・職場が長期休めばクビ。
- ・男性の育児、介護休業取得は賛成だが、環境が整っていないし、その収入源が心配。
- ・芸能人など育児休暇を取っているが、実際に取ったら後ろ指を差される思い。

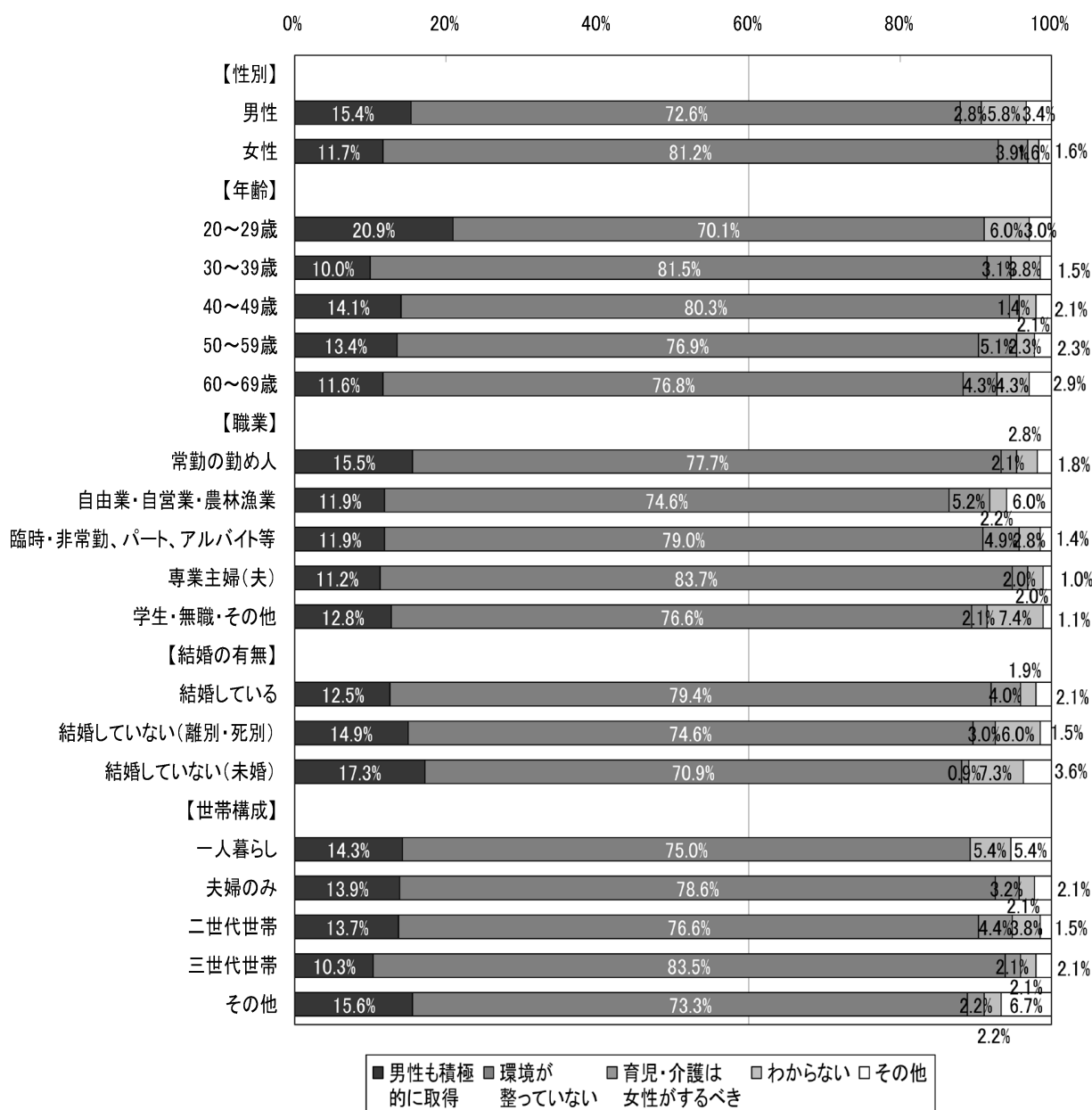


- ・ 中小は潰れる。
- ・ 論外の際は夫婦力を合わせる。
- ・ 育児、介護の実情にあっていない。
- ・ 現状に合っていないから。
- ・ 育児、介護は男性には上手にできない。
- ・ 実際会社にとらせてくれないと思う。
- ・ 育児休業や介護休業がとれる企業が少ない。
- ・ できれば母親が育児休業を取った方がよい。

問8：男性の育児・介護休業の取得について（属性別）

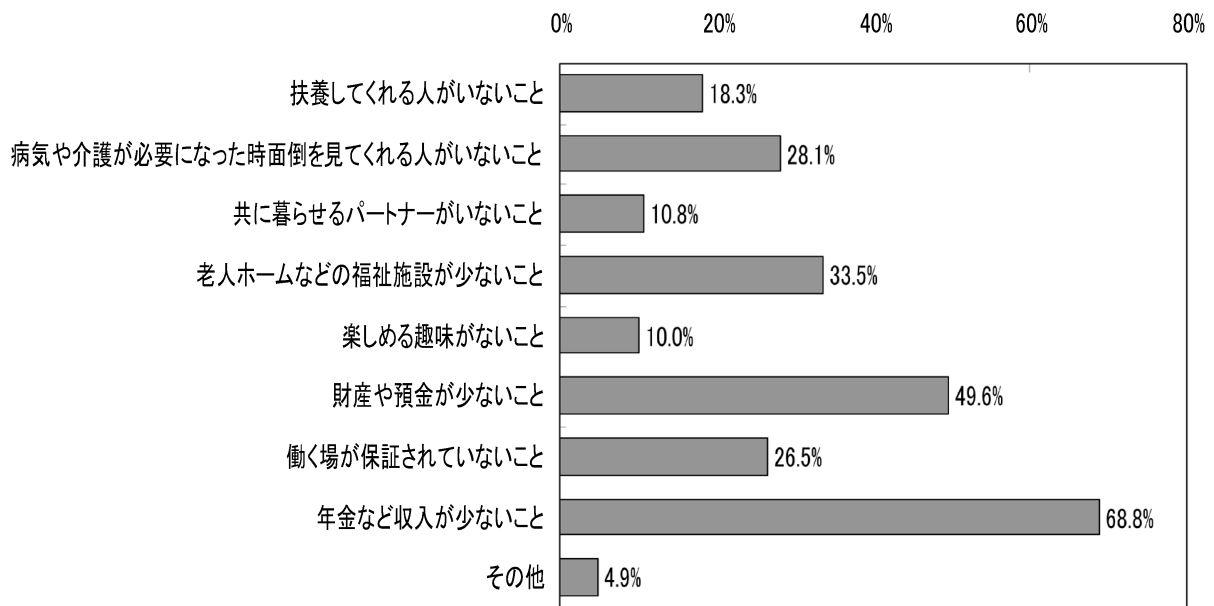
【性別】では、女性よりも男性の方が「積極的に育児・介護休業を取得すべき」と回答した人の割合が多くなっています。【年齢】では、20歳代において「積極的に育児・介護休業を取得すべき」と回答した人の割合が他の年代に比べ多くなっています。【職業】では、特に傾向は見られませんが、常勤の勤め人が「積極的に育児・介護休業を取得すべき」と回答した人の割合がやや多くなっています。【結婚の有無】では、既婚者は「取得しやすい環境が整っていない」という回答が多く、未婚者は「積極的に育児・介護休業を取得すべき」という回答割合が他の属性に比べ多くなっています。【世帯構成】では、大きな傾向はありませんが、三世帯世帯において「積極的に育児・介護休業を取得すべき」という回答割合が他の世帯に比べ少なくなっています。

男性の育児・介護休業の取得について



**問9 沼田市の高齢化率（総人口に対する65歳以上人口の割合）は高く、平成2年では14.4%でしたが、平成20年には25.5%と上昇を続けていますが、あなたは、老後の生活にどのような不安を感じますか。（○はいくつでも）**

「年金など収入が少ないこと」と回答した人が68.8%と最も多くなっており、次いで「財産や預金が少ないこと」の49.6%と、経済的な理由を挙げている人が半数以上となっています。その他には、「老人ホームなどの福祉施設が少ないこと」の33.5%、「病気や介護が必要になった時面倒を見てくれる人がいないこと」の28.1%となっています。



■「その他」の回答

○健康・医療について

- ・病気になった時沼田市での治療はムリと聞きます。
- ・医療面での支援が充実していない。
- ・今は元気だが病気等になった時考えたい。
- ・老々介護で共倒れになること。
- ・地域医療機関の充実。
- ・1人になっても生活出来る健康体でいられるかどうか。

○社会保障について

- ・年金ももらえるかわからないし不安しかないので、面倒を見てくれる人等の問題以前の問題だと思います。（国が不安）
- ・支払っているのに公的年金があてにならない。
- ・交通、増税。
- ・施設やホーム、医療費等すべてにおいて高額で生活していけなさそう。
- ・老後の社会保障が少ない事。

- ・老人施設が高い。

○その他

- ・そのときにならないとわからない。

- ・近所にお店が残ってるか。

- ・日本がどうなっているか。

- ・小学校に保育所、老人組を作り、毎日学校で楽しめるように。

- ・孤独感を希望する。

- ・全く貯金無し。

- ・現在学生で、就職もまだなので、正直、老後の不安を考えた事はありません。

- ・ここはバスが通っていない。坂道が多く買物する場所も遠い。今は車を使えるが、自分が年を取り運転ができなくなると生活が不安になる。

- ・一人息子なので老後あまり負担をかけたくない。

- ・老後、安心しているわけではないが、具体的な不安はない。

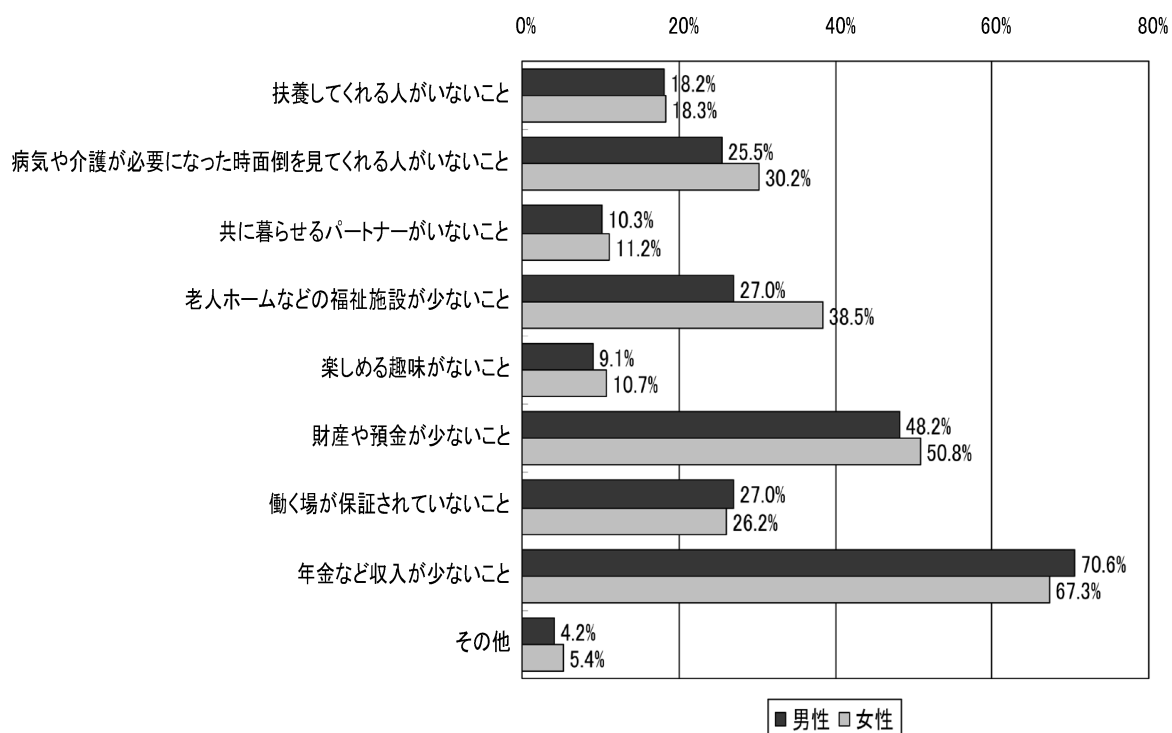
- ・昔のように隣近所の付き合いが少なくなっている。

- ・実感があまりないです。

- ・高齢化社会でも元気なお年よりはたくさんおります。仕事の出来る職場がほしいと思う。

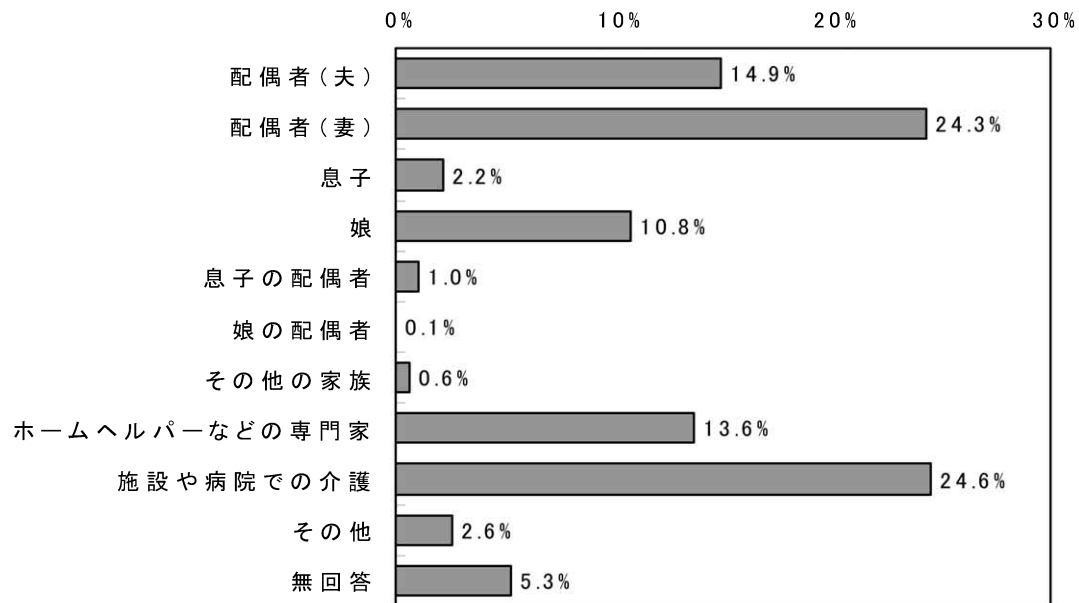
問9：老後の生活不安について（男女別）

「年金など収入が少ないこと」では、女性よりも男性の方が回答している人の割合が高くなっており、「老人ホームなどの福祉施設が少ないこと」では、女性の方が回答している人の割合が高くなっています。その他の項目については、男女共にほぼ同じ割合になっています。



問10 国民生活基礎調査では、介護者の71.9%(平成20年9月厚生労働省発表)が女性という実態が示されています。あなたは、介護が必要になった場合、誰に介護をしてもらいたと思いますか。(1つだけに○)

「施設や病院での介護」と回答した人が24.6%と最も多くなっており、次いで「配偶者(妻)」の24.3%、「配偶者(夫)」の14.9%となっています。



■「その他」の回答

- ・この先色々不安ですが考えができません。
- ・経済的余裕があれば他人でも可。
- ・直接本人に確認していない。
- ・ポッキリとですね。
- ・どの人にも迷惑かけたくない。(自分で元気に生活出来るようでありたい。)
- ・そうなる前に死にたい。
- ・不要、勝手に死ぬから。
- ・子供達に面倒はかけたくない。
- ・誰にも迷惑かけたくない。
- ・子供も自分の生活があり、思うようにはできないと思う。
- ・兄弟。
- ・介護不要の老後にのために今から気をつける。
- ・内縁。
- ・子供には面倒かけないほうがよい。お互い気まずくなりそう。
- ・必要になれば死す。
- ・息子を中心とした子孫共々。

- ・介護の度合によると思う。重度の場合は専門家。
- ・子供達。
- ・妹。
- ・わからない。
- ・妻がいれば妻に。
- ・夫に介護してもらいたいが、私より元気でいてくれたらよいと思います。
- ・必要になる前に眠りたい。
- ・子供に気を使いながら暮らすより気楽に送りたい。

問10：誰に介護してもらいたいのか（属性別）

【性別】では、男性は「妻」、女性は「施設や病院での介護」と回答した人が最も多く、【年齢】では、50歳代は「妻」、30、40、60歳代は「施設や病院での介護」が多くなっています。【職業】では、パート・アルバイトは「施設や病院での介護」、専業主婦（夫）は「夫」、その他の職業は「妻」と回答した方が最も多く、【結婚の有無】では、既婚者は「妻」、それ以外は「施設や病院での介護」、【世帯構成】では、一人暮らしは「施設や病院での介護」、その他の世帯では「妻」と回答した人が最も多くなっています。

	配偶者 (夫)	配偶者 (妻)	息子	娘	息子の 配偶者	娘の 配偶者	その他 の家族	専門家	施設や 病院	その他
【性別】										
男性	1.9%	56.3%	2.5%	3.8%	0.6%	0.3%	0.6%	12.7%	19.3%	1.9%
女性	26.2%	2.4%	2.1%	17.1%	1.4%	0.0%	0.7%	15.7%	31.0%	3.3%
【年齢】										
20～29歳	20.3%	21.9%	4.7%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	21.9%	17.2%	1.6%
30～39歳	15.0%	18.1%	3.1%	11.0%	0.0%	0.0%	0.8%	17.3%	31.5%	3.1%
40～49歳	15.3%	24.8%	2.2%	9.5%	0.7%	0.0%	0.0%	15.3%	29.2%	2.9%
50～59歳	17.1%	30.2%	2.0%	11.7%	2.0%	0.5%	1.5%	11.7%	21.0%	2.4%
60～69歳	13.8%	27.6%	1.5%	12.3%	1.0%	0.0%	0.5%	12.3%	28.1%	3.0%
【職業】										
常勤の勤め人	11.5%	38.1%	2.2%	8.1%	0.4%	0.0%	0.7%	13.7%	23.3%	1.9%
自由業・自営業・農林漁業	15.9%	28.6%	0.0%	11.1%	1.6%	0.8%	0.0%	11.9%	27.8%	2.4%
臨時・非常勤、パート、アルバイト等	17.7%	11.3%	3.5%	17.0%	1.4%	0.0%	0.7%	17.0%	26.2%	5.0%
専業主婦(夫)	34.0%	3.2%	2.1%	11.7%	2.1%	0.0%	0.0%	14.9%	30.9%	1.1%
学生・無職・その他	8.4%	30.5%	3.2%	12.6%	0.0%	0.0%	2.1%	15.8%	24.2%	3.2%
【結婚の有無】										
結婚している	17.3%	29.4%	1.4%	12.4%	0.7%	0.2%	0.2%	13.7%	22.9%	1.8%
結婚していない(離別・死別)	4.6%	1.5%	7.7%	15.4%	6.2%	0.0%	1.5%	10.8%	47.7%	4.6%
結婚していない(未婚)	15.0%	20.6%	1.9%	3.7%	0.0%	0.0%	1.9%	21.5%	30.8%	4.7%
【世帯構成】										
一人暮らし	11.5%	11.5%	7.7%	1.9%	1.9%	0.0%	1.9%	15.4%	42.3%	5.8%
夫婦のみ	20.7%	26.1%	0.5%	13.0%	1.1%	0.0%	0.5%	12.5%	23.9%	1.6%
二世帯世帯	15.8%	27.7%	2.1%	10.9%	0.6%	0.0%	0.0%	14.9%	25.5%	2.4%
三世帯世帯	11.5%	31.3%	1.0%	16.7%	2.1%	0.0%	0.0%	13.5%	20.8%	3.1%
その他	11.6%	25.6%	0.0%	11.6%	2.3%	2.3%	2.3%	11.6%	25.6%	7.0%

※項目が多いためグラフは割愛します。

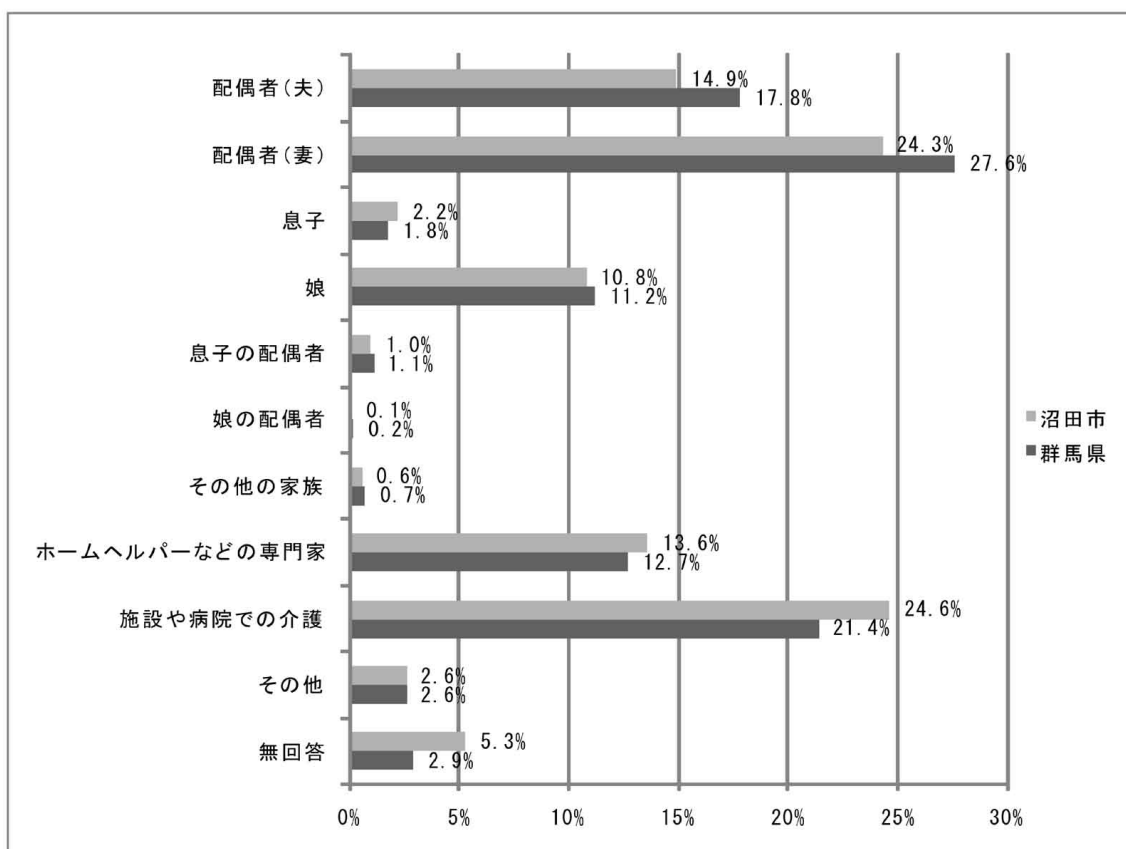


【群馬県調査との比較】

群馬県調査と比較すると、沼田市の方が「配偶者」と回答した人が群馬県より少なく、「病院や施設での介護」「専門家」と答えた人が群馬県より多くなっています。

(%)

	沼田市	群馬県
配偶者(夫)	14.9	17.8
配偶者(妻)	24.3	27.6
息子	2.2	1.8
娘	10.8	11.2
息子の配偶者	1	1.1
娘の配偶者	0.1	0.2
その他の家族	0.6	0.7
ホームヘルパーなどの専門家	13.6	12.7
施設や病院での介護	24.6	21.4
その他	2.6	2.6
無回答	5.3	2.9



※ 群馬県調査：「男女共同参画社会に関する県民意識調査（平成 22 年 3 月）」